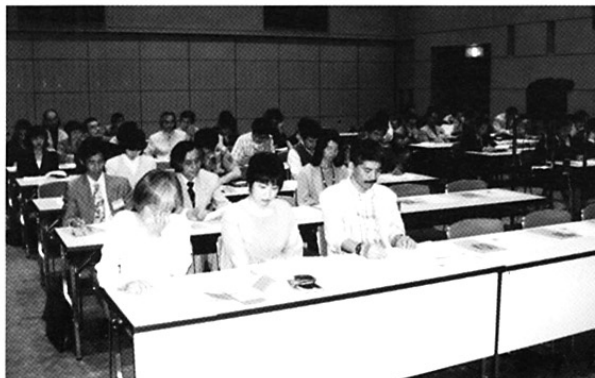




なり過ぎたことは益々人から離れてしまうと警鐘、今後日本の伝統染織も世界にも誇れるその高い技術力や表現力を大切にしていかに現代の生活に生かすかデザイナー及び企画者、生産者の発奮がうながされた。

次に行われた分科会では基調講演を受けてこれからのテキスタイルが抱える諸問題と題して制度からみた問題と技術からみた問題に分けてそれぞれ、徳地昭治氏(織研新聞社編集委員)と吉本忍氏(国立民族学博物館助教授)が座長となり、討論、各40数名の参加者を得て活発な発言のもと盛大な分科会となった。また5時15分からは京都国際交流会館内の別会場で山口副理事長の進行のもと、80数名の参加を得て会費制の懇親パーティが開催され緑豊かな東山の山麓を借景にした会場はなごやかで熱気ある交歓会となり総会一連の行事が終了した。



#### 1996年度 事業計画

2年目の期を迎え初年度の活動をベースにしながら、その内容の一層の充実と向上を図る。またそれらの活動の後ろ盾となる予算と活動の実行能力の幅を広げ、深めるためには会員(正会員、賛助会員)の増強拡大がぜひ必要です。また会員各位はいずれかの委員会に所属していただき「大きな活動の輪」を作り上げまた新しいテーマへの積極的な提案と挑戦をお願いしたい。

#### ■ 事業委員会

展覧会・セミナー(京都)	開催	5月('96)
プロフィール集	出版	6月('96)
見学会・セミナー(大阪)	開催	8月('96)
見学会・セミナー(東京)	開催	10月('96)
見学会・セミナー(福井)	開催	12月('96)
JAPANTEX「テーマゾーン」	受注施行	2月('97)
W.F.T.F店(大阪)	開催	3月('97)

#### ■ 広報委員会

T・D・Aニュースの発行  
発行時期: 4月、7月、9月、12月、2月の5回を予定。

#### ■ 交流委員会

文化セミナーの開催 時期は未定、3回を予定。  
賛助会員とのトーク会議の開催 時期は未定、1回を予定。

#### ■ 教育・研究委員会

関東地区、関西地区にそれぞれに研究会を開催  
時期、テーマ、回数は未定。

#### ■ 特別委員会

知的所有権(著作権、工業意匠権など)に関する諸問題の調査・研究の継続。

## 総会記念 基調講演



### 「インドネシアン・テキスタイルに見る伝統と現代」

講師 吉本 忍氏 国立民族学博物館助教授

'70年頃よりインドネシアをはじめとする東南アジア各地、東アジア、オセアニア、北米、北欧、マダガスカルなどの機織り技術と染織工芸の調査研究に従事。

著書 「ジャワ更紗」96年6月発刊予定 平凡社

「インドネシア染織大系」

「インドネシアの金更紗」

#### 1. インドネシアン・テキスタイルの伝統

「伝統と現代」ということはテキスタイルや染織に関わらず起きている問題です。不思議なことに世界中の機織り技術がインドネシアにあるので、これを見ることによって、今抱えている問題の指針になる。国立美術館は「伝統」国際美術館